

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 福岡県大牟田市立延命中学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒836-0871
福岡県大牟田市昭和町240番地
 E-mail : enmei-js@st.city.omuta.fukuoka.jp
 Website : _____
 児童生徒数：男子 84名 女子 89名 合計 173名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉・生き方)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1) 全体のねらい

- ①問題解決的な学習を通し、将来にわたって持続可能な発展に向けての知識や価値観を持ち行動できる生徒の育成
- ②体系的な思考力の育成
- ③情報収集・分析能力・コミュニケーション能力の育成

2) 実践内容

(第1学年)

<地域ふれあい体験：学びの旅①>地域の文化を知ろう！（5～7月）

○学習のねらい

- ・「地域とのつながり」について考え、地域の方との交流を深め、たくさんの「技」や「文化」について学ぶ
- ・グループの仲間と協力しながら、集団としての学ぶ力や考える力を付ける。
- ・グループごとの課題を仲間と話し合いながら解決していく力を付ける。

○具体的な学習内容等

- ①学びの旅の意義と心得の確認と地域文化希望調査を行う。
- ②計画の確認とグループ編成、グループ学習を行う。
- ③グループ学習（新聞作りの質問事項等を考える）
- ④まとめの新聞づくりのための西日本新聞の方（2名）からの出前授業を受ける。
- ⑤地域のボランティアの方（24名）から伝統文化（竹細工「郷土玩具」、押し花、折り紙、マジック、絵手紙、布小物、茶道）や食文化（料理「郷土料理」）について8つのグループ別の体験学習を行う。
- ⑥まとめの新聞づくりを行う。
- ⑦学年全体での報告発表会を行う。

<福祉学習：学びの旅②>誰もが安心して暮らせる社会とは？

「みんなが住みよい街「大牟田」をデザインしよう」（10～1月）

○学習のねらい

- ・高齢者だけでなく障害のある方や小さな子ども達まで、生活するすべての人が動きやすく、優しく住みよい街のデザインを考える。

○具体的な学習内容等

- ①学びの旅の内容を確認する。
- ②福祉について考える。
- ③大牟田市役所（総合政策課）の方から大牟田市の現状を説明してもらう。
- ④大牟田の街をデザインする。（1次案）
- ⑤グループのデザイン案を発表し合い、市役所の方からアドバイスをもらう。
- ⑥地域の身近な方（民生委員さん等）たちから、地域で生活する上で困っていることを聞かせてもらう。
- ⑦聴覚障害者の方からの講話や手話を体験する。
- ⑧社会福祉協議会から講師の方に来ていただき、車いす体験や高齢者模擬体験、

視覚障害の点字やアイマスク体験を行う。

- ⑨高齢者や傷害者の方、小さな子ども達まで生活するすべての人が動きやすく、優しく住みよい街のデザインを地域の方からのアドバイスを受けながらまとめる。
- ⑩住みよい街づくりのデザイン報告会を地域や保護者の前で行う。

(第2学年)

<生き方学習：学びの旅③>職場体験（働く人に学ぶ）（5～7月）

○学習のねらい

- ・地域のさまざまな人の生活にふれながら、働くことの意義や価値について考える。
- ・地域の人々の生き方を学び、自己の将来の生き方を見つめる。

○具体的な学習内容等

- ①体験学習の意義と心得、職場体験の希望調査を行う。
- ②オリエンテーション、グループ編成を行う。
- ③PC室でのネットによる職業調べや図書室での調べ学習をする。
- ④職業レディネステストを受ける。
- ⑤職業についてのグループ学習を行う。
- ⑥外部講師を招聘してのマナー講習会を行う。（あいさつ、礼儀、言葉遣い等）
- ⑦職場体験学習を行う。
- ⑧職場体験の学んだことのレポート作成を行う。
- ⑨学年全体での報告発表会を行う。

<伝統文化：学びの旅④>大牟田と京都の伝統・文化の違いを調べよう！ （9～12月）

○学習のねらい

- ・大牟田と京都の産業や歴史、文化の違いについて修学旅行を活用して実際に見たり、体験したりすることを通してそれぞれの地域の伝統や文化の良さを学習する。

○具体的な学習内容等を確認する。

- ①学習の意義や目的の確認、実行委員選出を行う。
- ②全体テーマ確認、グループ編成、役割分担を確認する。
- ③班別テーマ確認と計画作りを行う。
- ④係別学習会を行う。
- ⑤班別計画の修正や検討を行う。
- ⑥保護者への説明会及び計画の発表をする。
- ⑦班別自主研修会を行う。
- ⑧班別のテーマに合わせたレポート作成を行う。
- ⑨保護者の前でテーマに合わせた報告会を行う。

(第3学年)

<生き方学習：学びの旅⑤>職場体験（働く人に学ぶ）（5～7月）

○学習のねらい

- ・地域のさまざまな人の生活にふれながら、働くことの意義や価値について考える。

・地域の人々の生き方を学び、望ましい職業観や将来の夢、自己の将来の生き方を見つめる。

○具体的な学習内容等

- ①体験学習の意義と心得、職場体験の希望調査を行う。
- ②オリエンテーション、グループ編成を行う。
- ③PC室でのネットによる職業調べや図書室での調べ学習をする。
- ④職業についてのグループ学習を行う。
- ⑤外部講師を招聘してのマナー講習会を行う。(あいさつ、礼儀、言葉遣い等)
- ⑦職場体験学習を行う。
- ⑧職場体験の学んだことのレポート作成を行う。
- ⑨学年全体での報告発表会を行う。

<福祉学習：学びの旅⑥>保育実習（命の大切さや思いやりの心を育もう！）
(10～11月)

○学習のねらい

・地域の幼稚園や保育園（7施設）の訪問を行い、幼児とのふれあい体験を行うことによって思いやりの心や命の大切さを学習する。また、社会人としてのマナーやルールについても学習する。

○具体的な学習等

- ①体験学習の意義と心得、職場体験の希望調査を行う。
- ②グループ編成と実習計画の作成を行う。
- ③実習のための準備作業を行う。
- ④体験施設との打ち合わせを行う。
- ⑤保育実習体験を行う。
- ⑥⑤習体験の学んだことのレポート作成を行う。
- ⑦レポートをまとめ、掲示をする。

(生徒会)

<福祉>

- ・校内や地域の方や施設の協力を得ながら、空き缶のプルタブを継続的に回収している。回収したプルタブは定期的に金属回収業者でお金に換金し、ある程度の金額になったら福祉施設等に車いすや介護用品等を贈呈する。
- ・ユニセフ募金を定期的に行い、集まったお金を送金する。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）